



寺報

2014年(平成26年)

No. 218

1月号

Zenkyo-ji monthly
Communications Paper
En [えん]

縁

楽しい仏教用語

【金輪際（こんりんざい）】

「もう金輪際いたしません」というように、金輪際は、ふつう「絶対に」とか、「どんなことがあっても」とかいうような意味を使われています。

佛教の宇宙觀によれば、虚空のなかに風輪という円筒状の気体の層が浮かんでおり、その上に水輪といふ水の層、さらに、その上に金輪という個体の層があります。

そして、私たちの住んでいる金輪の最下端、つまり、金輪と水輪との境目を金輪際と呼んでいます。私たちにとっては、これより先のない、ぎりぎりのところという意味なのです。

この「沙汰」の出典は仏典です。『仏教語大辞典』には「揃札遣棄の意。排斥。沙金を淘汰して沙を捨て金をとることで、不要のものを去り、有用のものをとる吟味のこと」とし、いくつかの仏典を示しています。そしてさらに、唐の武帝が考試によつて僧を調べ、真に僧たる学力を有する者以外は還俗させた会昌の排佛を会昌沙汰といふと紹介します。

(辻本敬順氏「仏教用語豆辞典」参照)



善教寺「石」シリーズ その12 『本堂北側の庭園石』

その30

【沙汰（きた）】

「ご無沙汰しています」、何気なく使つてゐる言葉ですが、「沙汰」とは、『広辞苑』によると、

(1) 淘汰 (2) 評定、裁断、訴訟

(3) 政務の裁断処理

(4) 処置、取り扱い

(5) 主君や官府の指令

(6) たより、音信

(7) 行い、しわざ、事件

(8) 評定、裁判

「地獄の沙汰も金次第」は(2)、「追つて沙汰する」は(5)、「正気の沙汰」は(8)、「ご無沙汰」は(6)の意味になります。

年初の誓いなどではいかなくとも、年の初めにはある程度の目標を定められたと思います。新しいことに挑戦するとか、ダイエットだつたり、新しい勉強を始める、お稽古を極めるなど、一年経つて、目標を達成されたようでしたら良いのですが、なかなか上手くいきません。

私の目標は、体重10キロ減でした。と云つても、ダイエットではありません。ウォーキングをして痩せること。継続的な運動ですが、私の目標は、体重10キロ減でした。こんな自分自身に対して、悔しさを感じます。5キロ増でした。こんな自分自身に対して、悔しさを感じ越して、呆れています。

最近、お経を勤める時に正座をすると足が痛くなると思っていましたら、体重の増加が原因でした。

法事にお参りすると、「住職さん、恰幅がよくなつて、威厳が出てきちゃつたね」と、お褒めの言葉を頂くのですが、あまり嬉しくありません。ストイックな修行僧のイメージになりたいのですが、もう無理ですね。

『来年の目標?』ですか? 体重10キロ減です。

皆さんも目標を定めて、一緒に頑張りましょう。また来年も、宜しくお願いします。

住職レター

年末を迎えて、慌ただしい毎日です。大掃除に加え、年賀状の準備、

なんだか忙しい…そんな中、この頃になると、今年一年を振り返つたりしませんか?



〒739-0036 東広島市西条田口500-4
TEL(082)425-1357 FAX(082)425-1248